

行政経営評価（施策評価）

ライフステージの視点 (生活と時間)	3. 働 く	産業関連の各分野を【働くライフステージ】に該当する分野と捉えます。
-----------------------	--------	-----------------------------------

施策分野	目指すべき姿
3-① 水産業振興	水産業関係者が生き生きと活動できるような環境整備を推進し、海（獲る）と陸（流通・加工）が一体となった「水産都市・銚子」として飛躍するまち
3-② 農業振興	中心的な担い手の農地の集積・集約化が進み、収益性の高い農業を展開していくことにより、産業としての農業が持続されていくまち
3-③ 商工業振興	地場産業が活性化するとともに、新たな担い手による事業も展開され、雇用機会が確保されるまち
3-④ 観光振興	豊かな地域資源の活用と関係主体の連携により、魅力的な観光資源が形成され、多くの観光客が訪れるまち
3-⑤ エネルギー関連産業振興	大規模洋上風力発電施設の運転開始と再生可能エネルギーの地産地消を目的とした地域新電力事業の普及が実現したまち

■まちづくりの視点

市民の視点	誰もが自分なりの力を試し発揮する
行政の視点	市の強みを磨き、雇用の場を創出する
協働の視点	地域資源の共有を通じて価値づくりに取り組む

■成果指標と現状

指標名 (対象分野)	計画策定時 (基準年度)	現状 (最新)	3年後 (2021年度目標値)	5年後 (2023年度目標値)	10年後 (2028年度目標値)
① 廻船による水揚げ金額 (水産業振興)	221億円 (2017年)	225億円 (2021年)	221億円	221億円	221億円
② 農家1戸当たり経営耕地面積 (農業振興)	231アール (2015年)	244アール (2020年度)	252アール	257アール	270アール
③ JA営農センター銚子管内野菜出荷量 (農業振興)	115,260 t (2017年度)	120,356 t (2021年度)	118,500 t	119,500 t	122,400 t
④ 企業・起業家の立地・創案件数 (商工業振興)	8件 (2017年度)	延べ 0件	延べ 30件	延べ 50件	延べ 100件
⑤ 市内事業所数 (商工業振興)	3,672箇所 (2016年)	3,084箇所 (2021年速報)	3,600箇所	3,600箇所	3,600箇所
⑥ 観光入込客数 (観光振興)	2,560千人 (2017年)	1,748千人 (2021年)	2,888千人	3,046千人	3,552千人
⑦ 外国人宿泊者数 (観光振興)	4,503人 (2017年)	117人 (2021年)	10,375人	12,554人	20,218人
⑧ 地域新電力会社の販売電力量 (エネルギー関連産業振興)	2018年6月 設立	2,449MWh (2021年度)	4,100MWh	4,700MWh	5,300MWh
⑨ 洋上風力発電設備の誘致 (エネルギー関連産業振興)	促進区域指定から 7年後運転開始※	事業者選定	環境影響評価	着工	運転開始

※促進区域指定から7年後運転開始の目標スケジュール

(起点) 促進区域指定 ⇒ [1年後]事業者公募・決定 ⇒ [2年後]環境影響評価 ⇒ [4年後]着工 ⇒ [7年後]運転開始

成果指標と現状の分析
<p>水産業振興及び農業振興の分野では、指標の値は順調に推移している。銚子漁港の水揚量は12年連続で日本一となり、春キャベツの生産量も日本一を継続するなど、市の基幹産業である農業及び水産業は、引き続き力強さを見せている。一方で、人材確保が課題となっているが、コロナ禍で取組を縮小せざるを得なかった。</p> <p>商工業振興の分野では、事業所数及び従業者数の減少が続いている。一方で、企業立地の補助金制度を活用した2件の再投資があり、事業の拡大や雇用の維持確保につながった。</p> <p>観光振興の分野では、指標の値が伸び悩み、特に外国人宿泊者数は前年と比較しても大幅に減少した。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、インバウンドに関しては大幅に制限されたほか、オリンピック聖火リレーをはじめ、銚子みなとまつり、さんまマラソンなどの各種イベントが中止を余儀なくされ、海水浴場の開設も昨年に続き中止した。さらに、緊急事態宣言などの影響により、観光需要の回復に向けては、依然として厳しい状況が続いた。</p> <p>エネルギー関連産業振興については、洋上風力発電の公募占用計画が認定を受け、本格的に事業が動き出す段階となった。地域新電力会社の販売電力量は、電力需給の逼迫やエネルギー価格の高騰の影響で電力の調達費が増加し、前年度と比較して減少に転じている。同社では発電施設を保持していないことから、電力の安定的な確保が課題となっている。</p>

行政経営評価レポート

	所管	水産課
事務事業名	銚子漁港整備経費	事業ID
		10602030126

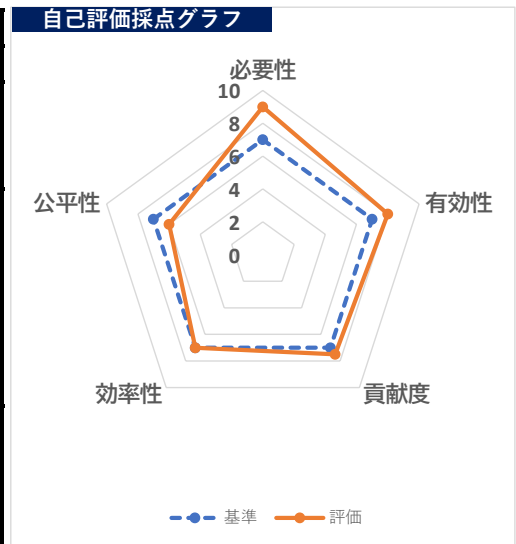
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
特定漁港漁場整備事業計画に基づき千葉県が実施する事業であり、令和3年度は沖南防波堤関連整備や-6.0m泊地浚渫などを行った。大型船が入港可能な漁港の機能確保を図っていく。				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	増大している
	事業の廃止・休止による影響は大きい	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに十分に見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	今は受益者負担を求めているが、今後負担の導入を検討する必要がある

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	特定漁港漁場整備事業計画で定められた計画に則り事業を行う。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

重要な水産業振興事業として、特定漁港漁場整備事業計画に基づき、今後も継続していく。

行政経営評価レポート

		所管	水産課
事務事業名	外川漁港整備経費	事業ID	10602030226

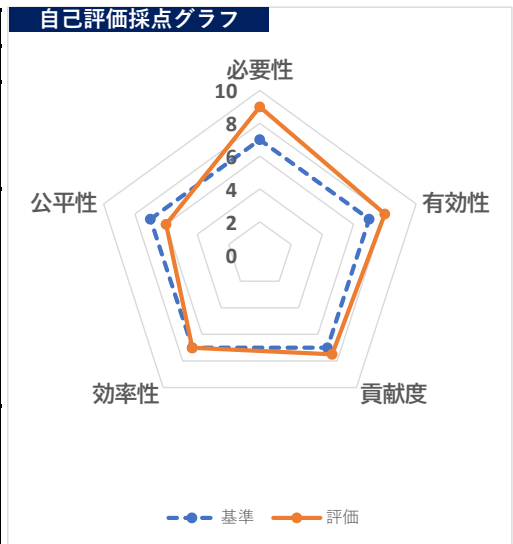
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>千葉県が実施する事業であり、令和3年度は航路・泊地浚渫や臨港道路ほか維持修繕を行った。地元船が安全に入港できるよう漁港の機能確保を図っていく。</p>				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	増大している
	事業の廃止・休止による影響は大きい	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに十分に見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	今は受益者負担を求めているが、今後負担の導入を検討する必要がある

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	千葉県の実施する整備事業に対し、漁港地元市としての費用を負担する。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>重要な水産業振興事業として、今後も継続していく。</p>

行政経営評価レポート

	所管	水産課
事務事業名	水産業金融対策経費	事業ID
		10602020426

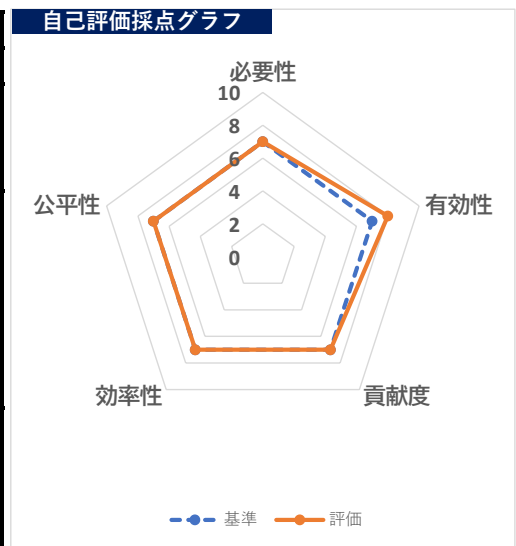
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
漁業近代化資金利子補給件数	件	目標値	—	—
		実績値	49	38
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
漁業近代化資金借入金利子補給新規借入件数	件	目標値	4	4
（ 漁業近代化資金新規借入者数 ）		実績値	3	1
（ ）		目標値		
（ ）		実績値		
（ ）		目標値		
（ ）		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は小さいがある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに十分に見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	施策体系外である
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
（上記理由）	
<p>当事業を利用した融資を希望する水産業者への利子補給件数は減少傾向ではあるが、今後融資を希望する水産業者への支援は継続して実施する必要がある。</p>	
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>市内水産業者の経営の安定化を図るため、今後とも事業を継続していく。</p>
--

行政経営評価レポート

		所管	水産課
事務事業名	漁業共済掛金助成経費	事業ID	10602020526

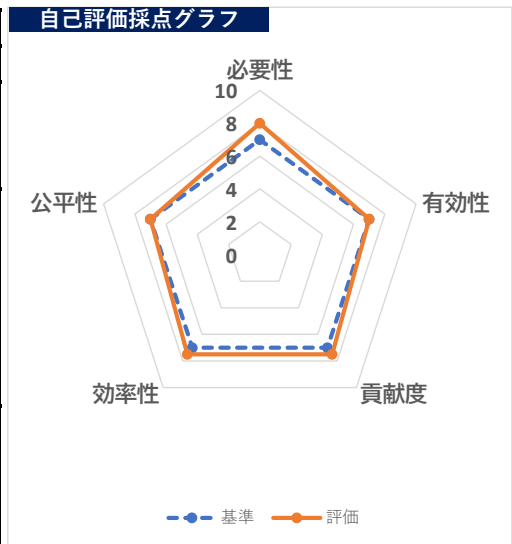
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
漁業共済掛金補助額	円	目標値	—	—
		実績値	7,324,953	6,332,399
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
漁業共済：契約者	件	目標値	—	—
（年間契約者数の推移）		実績値	67	67
漁業共済：掛金補助率	%	目標値	8	7
（年間掛金に対する補助率の推移）		実績値	8	7
		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きい	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性 (上記理由)	予算規模を縮小する
令和元年度から5年かけて事業費を削減する。	
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>計画どおり補助率を令和元年度から毎年1%削減している。最終目標は令和5年度の補助率5%である。</p>
--

行政経営評価レポート

		所管	水産課
事務事業名	廻船誘致対策経費	事業ID	1060202126

4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
廻船の入港数	隻	目標値	8,000	8,000
		実績値	7,892	8,534
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目 (指標の説明)	単位	目標/実績	R 2	R 3
廻船の水揚量	t	目標値	240,000	240,000
(廻船の水揚量)		実績値	235,666	241,598
()		目標値		
()		実績値		
()		目標値		
()		実績値		

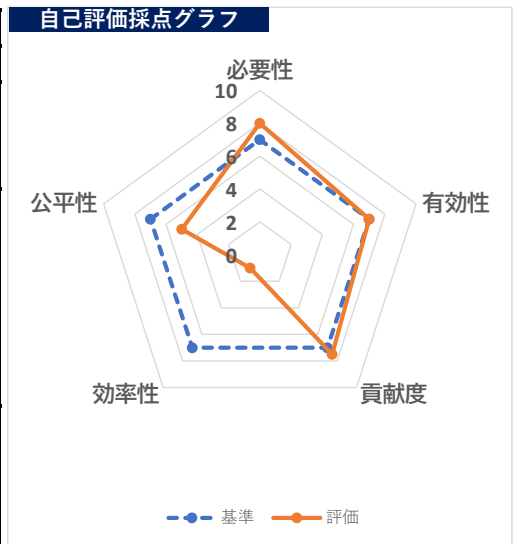
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載

旋網漁船においては、年々大型化が進んでおり、大型船が入港するための漁港整備を加速していく必要がある。

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きい	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	今後その額や対象等を再検討する必要がある

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	銚子漁港の水揚量並びに水揚額の8割以上は廻船により賄われている。銚子漁港への廻船誘致活動は重要な役割を担っている。
比較参考 (他自治体での類似事業の例など)	



6 総評 (評価に対する考え方から今後の事業の進め方など)

銚子漁港の水揚量並びに水揚額の8割以上は廻船により賄われている。銚子漁港への廻船誘致活動は重要な役割を担っており、引き続き事業を継続していく。

行政経営評価レポート

		所管	水産課
事務事業名	栽培漁業推進経費	事業ID	10602020226

4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
ヒラメの種苗放流数	尾	目標値	—	—
		実績値	133,600	137,700
マダイの中間育成・放流数	尾	目標値	—	—
		実績値	114,656	158,870
ふな放流量	kg	目標値	—	—
		実績値	120	120
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		

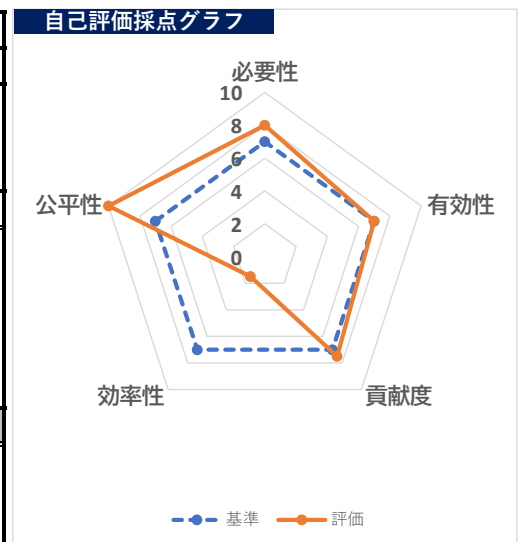
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載

生産の増加には至っていないが、水産資源維持を図った。

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	適正な受益者負担を導入している（年度内にコスト計算実施）

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	栽培漁業の推進及び普及を図り、沿岸漁業の振興に寄与する。また、利根川の資源の維持を図るとともに生産の増大を期するため継続して実施する必要がある。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

水産資源の維持を図るため、今後も事業を継続する。

行政経営評価レポート

		所管	水産課
事務事業名	その他水産業総務経費	事業ID	10602010726

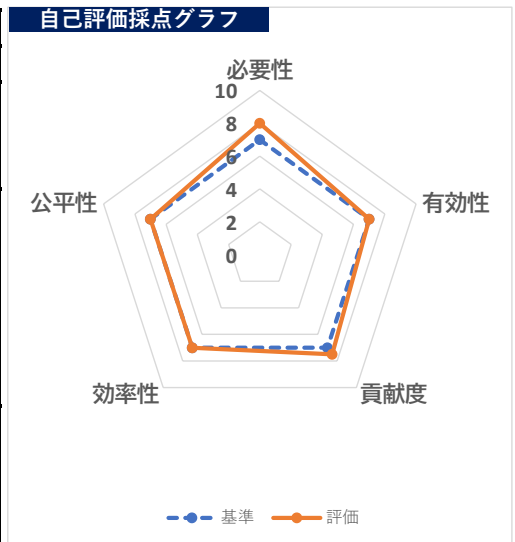
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
継続的で円滑な水産業振興に寄与した。				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きい	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性 (上記理由)	予算規模は現状維持とする
	漁業振興のうえで必要となる経費を算定しているため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

水産行政の円滑な遂行のため、今後も現状を維持する。

行政経営評価レポート

	所管	水産課
事務事業名	漁港等環境整備経費	事業ID
		10602020126

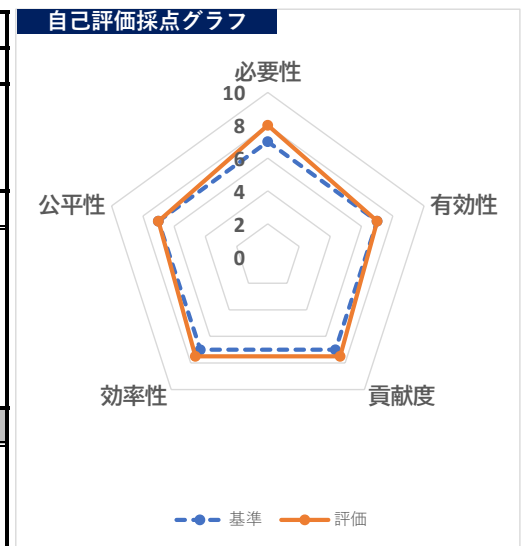
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
委託清掃時間	時間	目標値	385	385
		実績値	385	385
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
水道使用量からの推定トイレ利用人数	人	目標値	—	—
（ トイレ使用1回あたりの水道使用量から利用者数を推計 ）		実績値	84,964	77,361
（ ）		目標値		
（ ）		実績値		
（ ）		目標値		
（ ）		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
施設の維持管理を今後も継続するため。	
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>漁業関係者のみでなく、市民・観光客も利用する施設を今後も適切に維持管理していく。</p>

行政経営評価レポート

	所管	農産課
事務事業名	農業経営基盤強化資金利子補給経費	事業ID
		10601030327

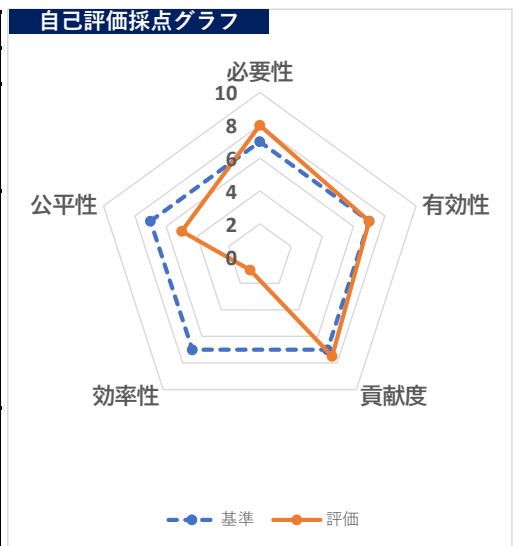
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
利子補給件数（個人）	件	目標値	—	—
		実績値	10	9
利子補給件数（法人）	件	目標値	—	—
		実績値	6	6
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
農業経営基盤強化促進法に基づき農業経営改善計画の認定を受けた農業者が経営改善のために借り入れた資金に利子補給を行い、経営改善に寄与した。				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	今後その額や対象等を再検討する必要がある

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	平成24年度以降の新規貸付にかかる利子補給について、人・農地プランに地域の中心経営体として位置付けられた認定農業者に対してのみ全額国庫負担で行われる。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

融資残高に応じて引き続き利子補給を行っていく。

行政経営評価レポート

		所管	農産課
事務事業名	農業金融対策経費	事業ID	10601030427

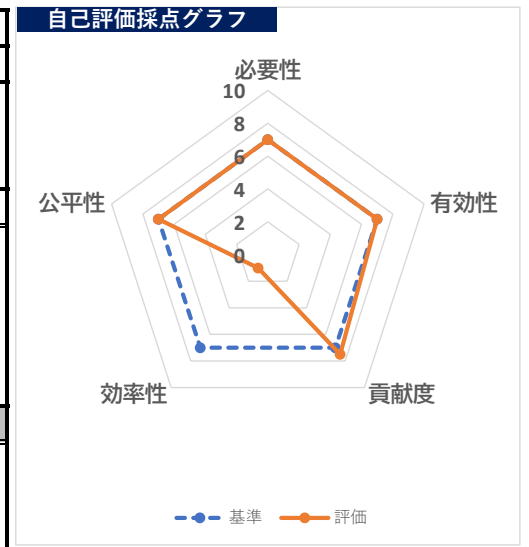
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
利子補給件数 計	件	目標値	—	—
		実績値	141	157
利子補給件数（うち個人新規分）	件	目標値	—	—
		実績値	21	19
利子補給件数（うち法人新規分）	件	目標値	—	—
		実績値	0	1
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>農業生産施設の近代化のため、資金を借入れた農業者に利子補給を行い、経営の安定化に寄与した。</p>				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は小さいがある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	借入希望の状況により対応
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>融資残高に応じて引き続き利子補給を行っていく。</p>

行政経営評価レポート

	所管	農産課
事務事業名	園芸用廃プラスチック処理対策経費	事業ID
		10601030527

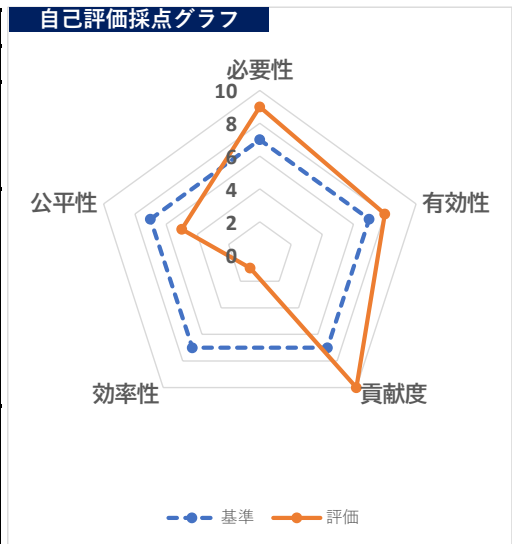
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
廃プラスチック処理量	t	目標値	—	—
		実績値	267	246
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
園芸用廃プラスチックの回収を行うことにより、廃材の適切な処理に寄与している。また、生産者（農業者）の負担軽減を図っている。				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	増大している
	事業の廃止・休止による影響は大きい	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに十分に見合った成果を得ている
	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	今後その額や対象等を再検討する必要がある

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	事業が廃止もしくは縮小されると、農家の費用負担が増加し、園芸用廃プラスチックの不法投棄が誘因される恐れがあるため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

廃プラスチック処理料金の値上げが進んでいるため、適切な補助率を考慮していく必要がある。

行政経営評価レポート

		所管	農産課
事務事業名	「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援経費	事業ID	10601030827

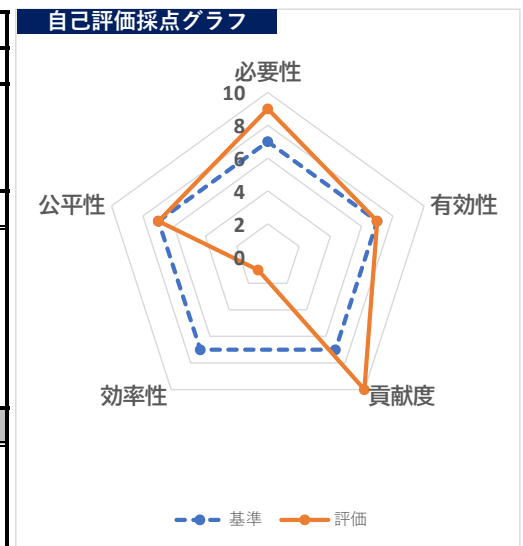
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
省力機械等の導入	件	目標値	—	—
		実績値	13	6
園芸生産施設の導入	件	目標値	—	—
		実績値	2	2
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>農地の耕作や農作物の出荷を補助するための農業用機械等の導入を支援することにより、農産物の単位面積あたりの収穫量の増加及び作業効率の向上に寄与した。</p>				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	実施が義務付けられている事業【法定受託等】
	事業の廃止・休止による影響は大きい	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
有効性	事業の成果は得られているか	実施が義務付けられており成果を計ることがなじまない【法定受託等】
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	評価対象外

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	評価対象外
(上記理由)	
	事業実施要望があり、県のヒアリングを経て事業実施計画の承認があった場合に実施
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>県の補助率10/10の事業のため、実施要綱・要領に沿って、これまでどおり事務を進めていく。</p>
--

行政経営評価レポート

	所管	農産課
事務事業名	経営所得安定対策等推進経費	事業ID
		10601031627

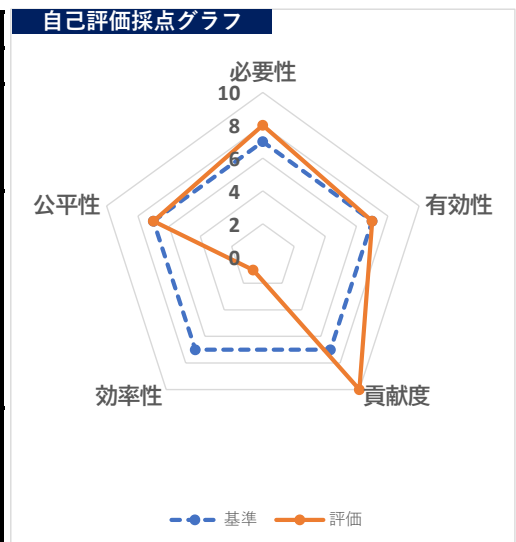
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
水田農家（田を所有若しくは借用している農家）	件	目標値	—	—
		実績値	1,667	1,634
収入減少影響緩和交付金申請件数	件	目標値	—	—
		実績値	43	42
水田活用の直接支払交付金申請件数	件	目標値	—	—
		実績値	17	16
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 2	R 3
（ ）		目標値		
（ ）		実績値		
（ ）		目標値		
（ ）		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
水田農家へ当年産米の作付面積、生産数量を配分し、営農計画書に提示して配布する。また、回収した営農計画書により水田のデータベースを更新し、水田の状況を把握する。				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
水田による耕作を行う農業者の経営所得の安定化を図る必要があるため。	
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

食糧自給率及び自給力の向上には、水田による耕作を行う農業者の経営所得の安定化を図る必要がある。

行政経営評価レポート

		所管	農産課
事務事業名	広域営農団地農道管理経費	事業ID	10601050227

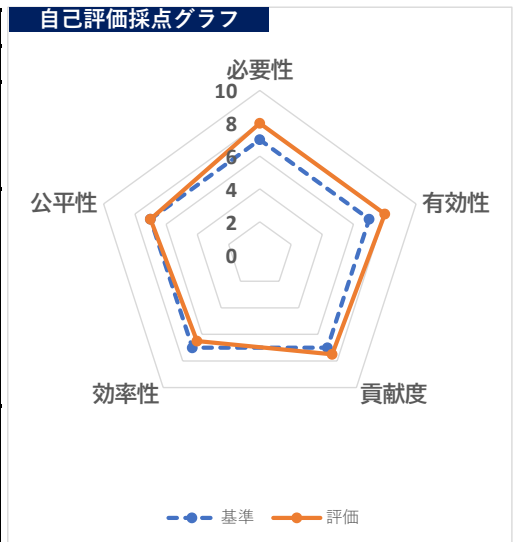
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
除草・清掃活動面積	㎡	目標値	—	—
		実績値	6,870	5,390
舗装修繕面積	㎡	目標値	—	—
		実績値	214	83
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
（ ）		目標値		
（ ）		実績値		
（ ）		目標値		
（ ）		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
令和3年度は主に除草業務、4号橋梁橋台部法面修繕工事を実施（市単独）				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きい	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに十分に見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	農道整備にかかる経費が継続的に必要であるため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>本広域農道を予防保全するため、日常的パトロール、目視による橋梁点検を実施し、維持管理に努める。</p>
--

行政経営評価レポート

	所管	農産課
事務事業名	広域営農団地農道整備経費（地方創生道整備推進交付金事業）	事業ID
		10601050427

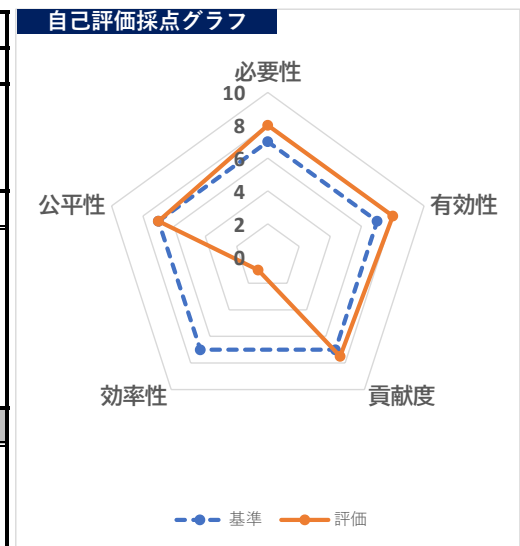
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
（ ）		目標値		
（ ）		実績値		
（ ）		目標値		
（ ）		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
令和3年度は道路工（路体盛土）、橋梁上部工（橋桁設置）を県営事業で実施				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに十分に見合った成果を得ている
	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
農道整備にかかる経費は継続的に必要であるため。	
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	
該当市等の負担割合等があるため。	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

事業完了年度の令和5年度を目指して、関係団体と連携を図りながら全線開通を進める。
--

行政経営評価レポート

	所管	農産課
事務事業名	産地パワーアップ事業経費	事業ID
		10601032727

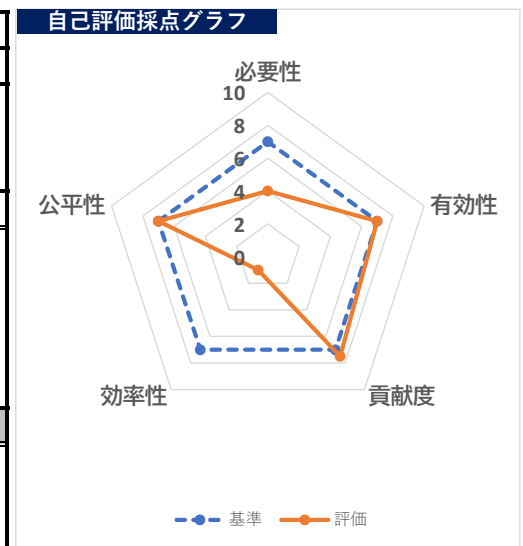
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
新しいトマト選果施設を導入した。				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は小さいがある
	市が実施すべき事業か	市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	評価対象外

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	事業実施要望があり、国・県から事業実施計画の承認があった場合に実施
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

補助事業であり、実施要綱・要領に沿って、これまでどおり事務を進めていく。

行政経営評価レポート

	所管	農産課
事務事業名	消費・安全対策交付金事業経費（防鳥ネット整備）	事業ID
		10601041127

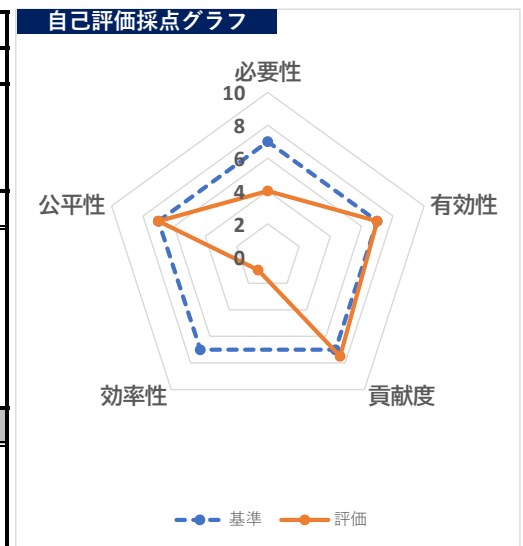
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
家畜伝染病の発生予防・まん延防止に寄与できた。				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は小さいがある
	市が実施すべき事業か	市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	評価対象外

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	家畜伝染病の発生を未然に防ぐため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

国から1/2以内の補助を受ける事業でもあり、今後も実施要領に沿って、これまでどおり事務を進めていく。
--

行政経営評価レポート

	所管	農産課
事務事業名	その他畜産関係経費	事業ID
		10601040827

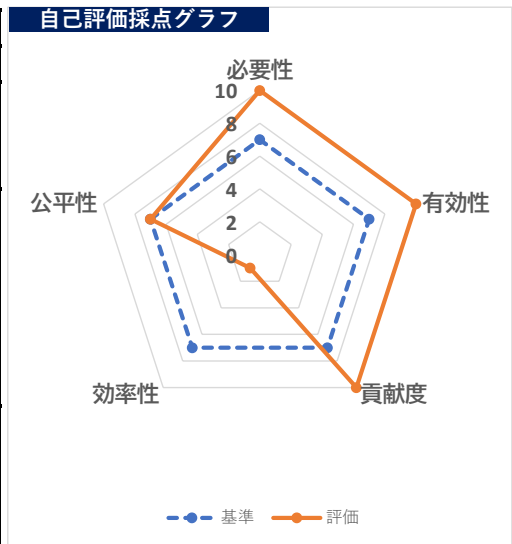
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
各協議会へ負担金を支出することで、事業の助言を受けることができることができた。また、家畜伝染病等の情報共有ができた。				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	実施が義務付けられている事業【法定受託等】
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コスト以上に十分な成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
銚子市の家畜防疫には、各協議会との協力体制が不可欠のため。	
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

現在の事務を継続して行っていく。

行政経営評価レポート

	所管	農産課
事務事業名	農業人材育成確保支援経費	事業ID
		10601032627

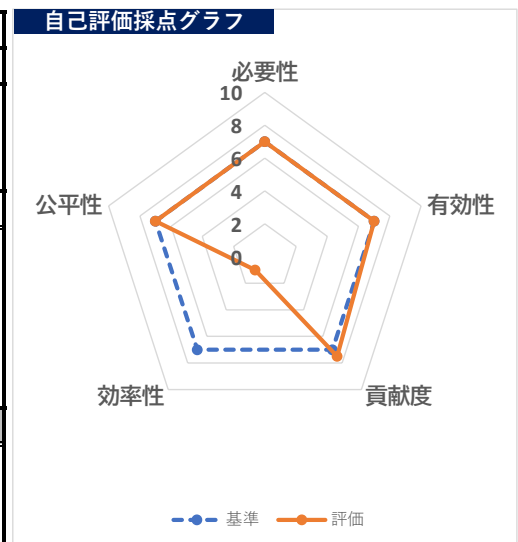
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
経営能力向上のための研修会など	回	目標値	—	—
		実績値	4	2
後継者育成のための交流会	回	目標値	—	—
		実績値	1	1
後継者育成のための交流会	回	目標値	—	—
		実績値	2	1
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
新規就農者数 ()	人	目標値	—	—
		実績値	12	2
()		目標値		
()		実績値		
()		目標値		
()		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				

5 事業の検証

必 要 性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は小さいがある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢 献 度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効 率 性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性 (上記理由)	予算規模は現状維持とする
	将来に繋がる農業経営の支援が必要であるため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>今後も農業人材の育成や後継者の確保を図っていく。</p>

行政経営評価レポート

		所管	農産課
事務事業名	有害鳥獣被害対策経費	事業ID	10601031127

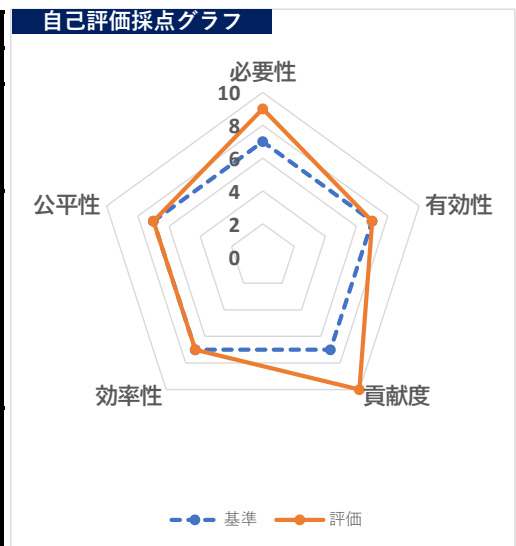
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
有害鳥獣駆除実施日数	日	目標値	—	—
		実績値	31	39
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 2	R 3
有害鳥獣駆除数 （ カラス駆除件数 ）	羽	目標値	650	650
		実績値	375	418
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
有害鳥獣（カラス）被害の軽減に努め、農産物の被害防止を図った。				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	増大している
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
有効性	事業の成果は得られているか	実施が義務付けられており成果を計ることがなじまない【法定受託等】
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	評価対象外

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性 (上記理由)	予算規模は現状維持とする
	農産物の被害軽減対策に必要なため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>地元猟友会に委託し、銃器による有害鳥獣の駆除・威嚇をすることにより一定の農作物被害の抑止効果が得られることから、引き続き事業を行っていく。</p>
--

行政経営評価レポート

		所管	農産課
事務事業名	有害鳥獣（イノシシ）被害対策経費	事業ID	10601032927

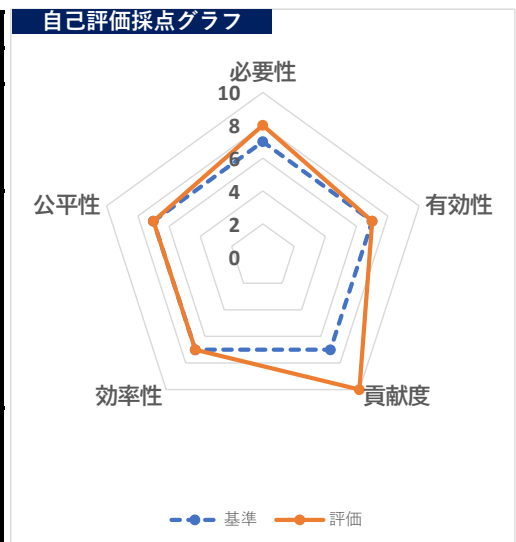
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
有害獣防護柵設置事業補助申請件数	件	目標値	—	—
		実績値	34	18
有害獣駆除活動日数	日	目標値	50	50
		実績値	50	50
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 2	R 3
有害獣駆除件数 （イノシシ捕獲頭数）	頭	目標値	—	—
		実績値	70	79
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>猟友会との連携によりイノシシの捕獲を行い、農作物被害の減少に寄与した。</p>				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
有効性	事業の成果は得られているか	実施が義務付けられており成果を計ることがなじまない【法定受託等】
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	評価対象外

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性 (上記理由)	予算規模は現状維持とする
	イノシシの捕獲頭数が昨年とほぼ同数で推移しているため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>今後も有害鳥獣被害は発生する可能性があるため、引き続き補助を行っていく。</p>

行政経営評価レポート

	所管	農産課
事務事業名	経営継承・発展等支援事業経費	事業ID
		10601033927

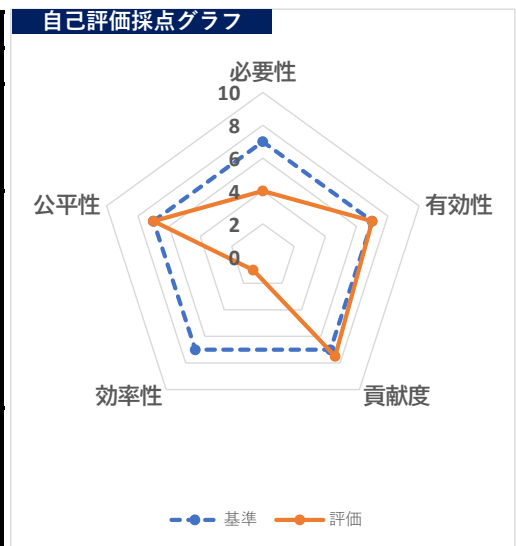
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
事業の実施（省力化機械の導入、新しい試作品種の導入）	件	目標値	—	—
		実績値	—	2
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
それぞれの経営発展計画に基づいた省力化機械の導入や試作品等の導入を支援することにより、農業経営を継承した後継者の経営発展に寄与した。				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	廃止・休止による影響は小さいがある
	市が実施すべき事業か	市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	評価対象外

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	国が定めた事務要領に沿って国と市で協調補助を行う事業のため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

現在の事務を継続して行っていく。

行政経営評価レポート

		所管	農産課
事務事業名	その他農業総務関係経費	事業ID	10601020727

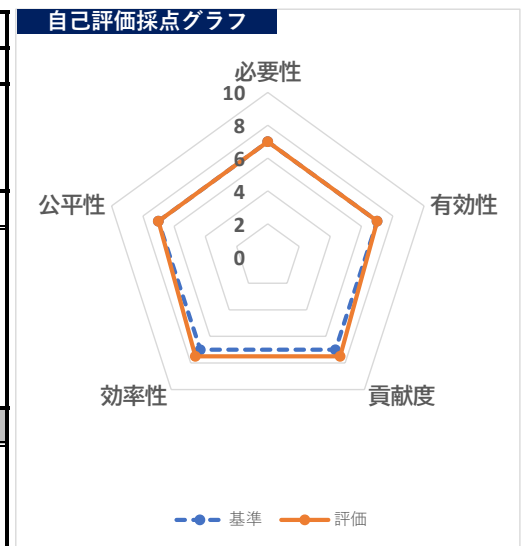
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>・やすらぎの家は森戸町、親田町の町内会とそれぞれ協定を結び、共同で管理・運営している。・農村婦人の家は閉鎖しており、機械警備等最低限の経費で管理している。・台風や大雨による現地確認や補助事業の検査確認、苦情に対する確認など突発的な案件が多く、課の公用車は高い頻度で利用している。</p>				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は小さいがある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費等の削減について検討し、方向性を決定した
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	業務の実態と予算規模に差がなく、これ以上の予算削減は困難なため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

現在の事務を継続して行っていく。

行政経営評価レポート

		所管	農産課
事務事業名	その他農業振興経費	事業ID	10601030627

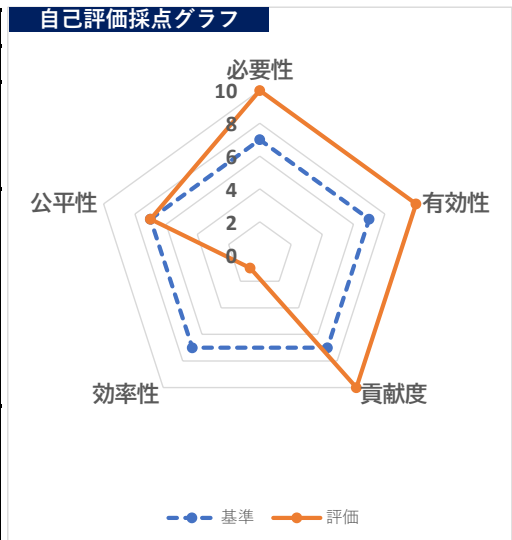
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目 (指標の説明)	単位	目標/実績	R2	R3
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>各協会や協議会へ負担金を支出することで、農業に関する補助や技術指導等を受けた。■千葉県米改良協会：米の生産・品質向上とその流通の円滑化に関する事業を行い、米の需要に応じた安定供給を図る ■東総地区植物防疫協会：国と市町村をつなぐ中間組織として農作物への病害虫に対する技術指導などを行う ■海匠地域農林業振興協議会：地域農林業の振興をはかることを目的とし、農振農用地の適用除外、区域変更等の審査などを行う ■千葉県園芸協会：園芸協会内の組織（農地中間管理機構）を通じた農地の貸し借りの斡旋、各種補助事業等を行う</p>				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	実施が義務付けられている事業【法定受託等】
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	実施が義務付けられており、廃止・休止はできない【法定受託等】
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コスト以上に十分な成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	銚子市の農業振興には、各組織との協力が必要なため。
比較参考 (他自治体での類似事業の例など)	



6 総評 (評価に対する考え方から今後の事業の進め方など)

現在の事務を継続して行っていく。

行政経営評価レポート

	所管	農産課
事務事業名	農業災害対策資金利子補給経費	事業ID
		10601031427

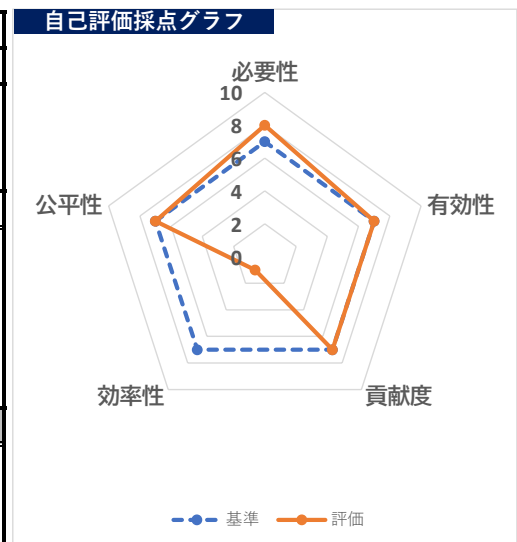
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
利子補給件数（経営安定資金）	件	目標値	—	—
		実績値	69	69
利子補給件数（施設復旧資金）	件	目標値	—	—
		実績値	10	9
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 2	R 3
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
農業被害を受けた方に利子補給を行うことで地場産業の安定及び復旧に寄与した。				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きい	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	施策体系外である
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	融資希望者の申請状況により対応
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

融資残高に応じて引き続き利子補給を行っていく。

行政経営評価レポート

		所管	農産課
事務事業名	その他農地関係経費	事業ID	10601050327

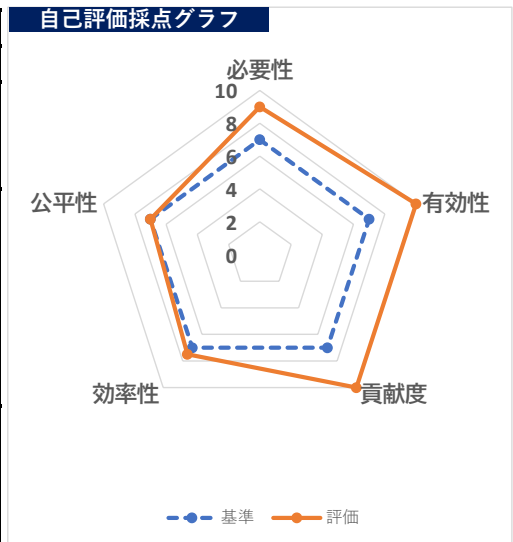
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
水路補修件数	件	目標値	—	—
		実績値	4	1
農道補修件数	件	目標値	—	—
		実績値	1	2
災害復旧件数	件	目標値	—	—
		実績値	—	16
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>路側防災工事、令和3年10月1日の大雨の影響などによる災害復旧工事、基幹農業道路用・水路整備用資材購入及び整備を実施。また、多面的機能支払交付金で地域資源の基礎的な保全活動（水路の草刈・泥上げ・農道の路面維持など）を実施。</p>				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	増大している
	事業の廃止・休止による影響は大きい	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コスト以上に十分な成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費等の削減について検討し、方向性を決定した
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	施設維持にかかる経費は継続的に必要であるため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>大雨の影響による被災状況確認のための巡回・パトロールを進め、被害状況の把握に努め、対処する。また、地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保安全管理を推進する。</p>

行政経営評価レポート

		所管	農産課
事務事業名	東総用水土地改良区関係経費	事業ID	10601020627

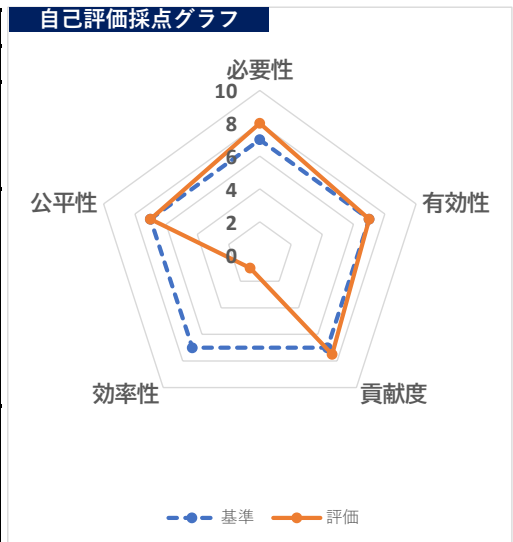
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
受益拡大に向けた勉強会	回	目標値	4	—
		実績値	1	1
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
受益地を拡大することで国営を維持し、維持管理面での負担軽減を図る。				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きい	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	施設にかかる経費は継続的に必要であるため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>今後も維持管理費の一部を助成し、維持管理面での受益者負担を軽減する。</p>

行政経営評価レポート

	所管	観光商工課
事務事業名	中小企業金融対策経費	事業ID
		10701020125

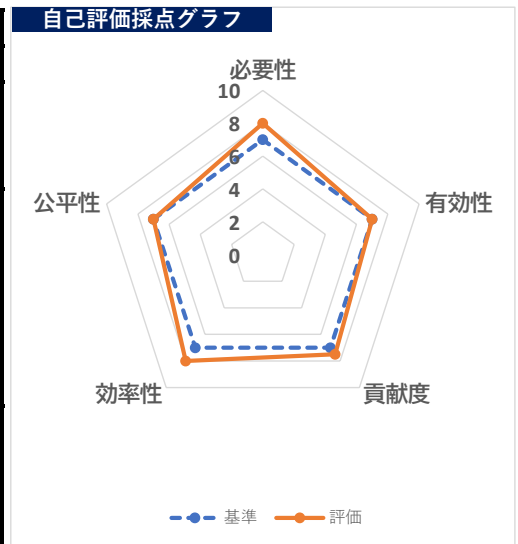
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
中小企業金融対策資金預託金	円	目標値	—	—
		実績値	20,000,000	20,000,000
中小企業資金融資利子補給金	件	目標値	200	200
		実績値	140	100
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>市内中小企業の経営安定化のため、制度融資による資金調達支援と利子補給を行っている。</p>				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	景気動向によって融資の申請件数に変動はあるものの、市内の中小企業等の経営安定化を図る上で、現状の予算が必要なため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>新型コロナ関連の実質無利子の県制度融資へと借り換える事例もあり、市の制度融資を継続する件数は減少しているが、本制度は市内事業者や金融機関に既に知られた制度融資であるため、経営安定化のための資金調達支援として今後も事業は継続していく必要がある。</p>
--

行政経営評価レポート

		所管	観光商工課
事務事業名	企業立地等促進経費	事業ID	10701022925

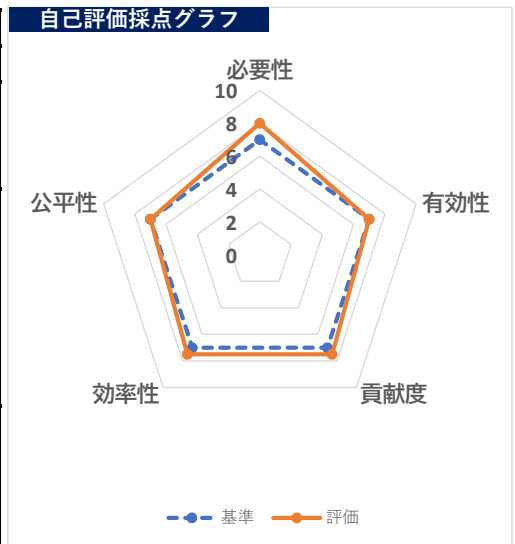
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
新規立地補助金交付件数	件	目標値	1	1
		実績値	1	1
再投資補助金交付件数	件	目標値	1	1
		実績値	2	4
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 2	R 3
新規立地による雇用の創出	人	目標値	10	10
（新規立地した企業が新たに雇用した従業員数）		実績値	0	0
（ ）		目標値		
（ ）		実績値		
（ ）		目標値		
（ ）		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>制度に関する問い合わせも出てきており、事業者の認知が広まっている。企業立地の促進及び雇用の確保に繋がり、本市の経済活性化に寄与している。</p>				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	<p>企業等の新規立地や再投資を促進し、新たな雇用の創出や既存の雇用の維持を図るためには、現状の予算が必要だが、対象企業の申請状況によっては予算規模の変動がある。</p>
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>新規立地のインセンティブとして、また、再投資補助は市内既存企業の支援として、今後も継続していく。</p>

行政経営評価レポート

	所管	観光商工課
事務事業名	中小企業相談所助成経費	事業ID
		10701020325

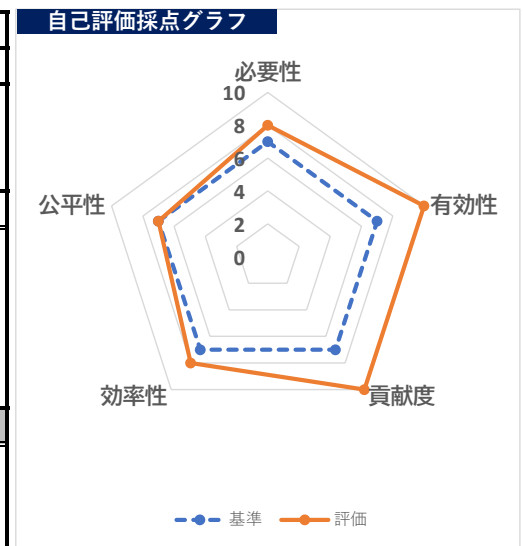
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
中小企業相談所事業費補助金	円	目標値	—	3,600,000
		実績値	3,600,000	3,600,000
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
市内事業者の経営基盤強化、商店街組織の組織力強化、事業の実施による持続可能な地域経済の循環創造				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きい	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コスト以上に十分な成果を得ている
	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	市内事業者等の支援を円滑に行うには、現状の予算が必要なため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

新型コロナ関連の経営相談件数が大幅に増加し、あらためて市内事業者の経営基盤安定化のための中小企業相談所の重要性を確認した。今後も現行の体制を維持していくため、市の支援を継続する必要がある。
--

行政経営評価レポート

	所管	観光商工課
事務事業名	創業支援事業経費	事業ID
		10701022125

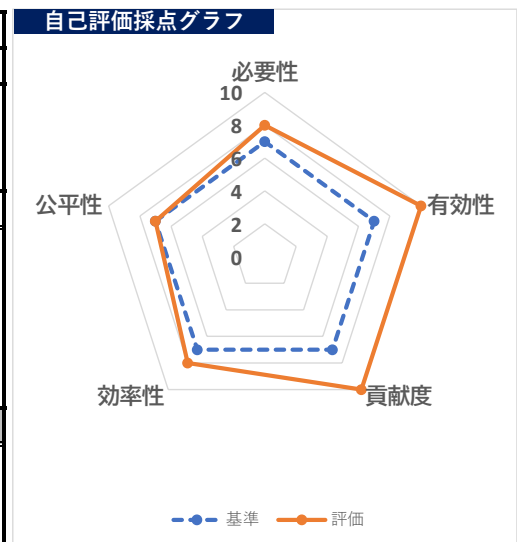
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
創業スクール及び各種セミナー	回	目標値	3	4
		実績値	1	4
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 2	R 3
創業スクール受講者数	人	目標値	30	30
（ 創業スクールを受講した人数 ）		実績値	32	15
（ ）		目標値		
（ ）		実績値		
（ ）		目標値		
（ ）		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
新型コロナ感染症対策のため、創業スクールはオンライン・オフライン併用という新たな形式で開催し、多数の参加者の申し込みがあった。				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コスト以上に十分な成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	空き店舗補助金については廃止
今後の予算規模の方向性	予算規模を縮小する
(上記理由)	
創業者に直接補助を行う空き店舗活用事業は廃止となったが、創業時の基本的な知識を習得させる創業スクールについては、継続していくこととなったため。	
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

新型コロナの影響をきっかけとした業態転換や新規事業の立ち上げを検討する事業者や起業家からのニーズも見込まれ、創業スクールは継続して開催していく必要がある。

行政経営評価レポート

事務事業名	観光DMO構築経費	所管	観光商工課
		事業ID	10701044225

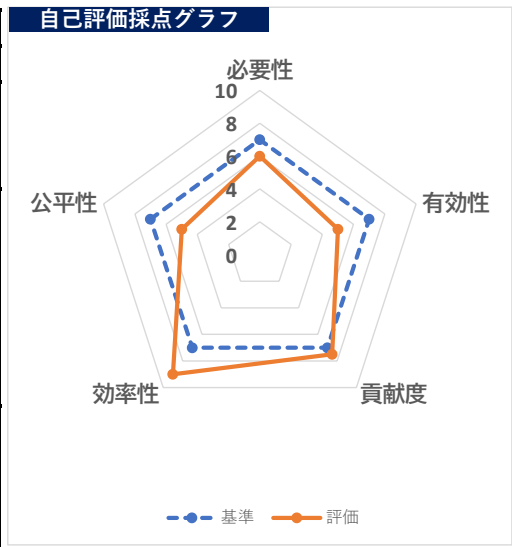
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
商品開発数	個	目標値	4	4
		実績値	1	1
旅行商品開発数	個	目標値	4	4
		実績値	1	1
イベント開催数	回	目標値	4	4
		実績値	0	1
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 2	R 3
観光入込客数（暦年） （ 地域観光商社としてのDMOの役割がどれだけ地域観光業を活性化できたかを測る。 ）	千人	目標値	2,804	2,888
		実績値	1,949	1,748
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるイベントの自粛要請や渡航禁止など、活動実施指標項目に対する事業計画に大きな打撃を受け、外国人観光客から国内の観光客へターゲットを変更したものの、各項目とも目標には遠く及ばないものであった。</p>				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	増大している
	事業の廃止・休止による影響は大きい	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有効性	事業の成果は得られているか	成果が概ね出ているが、更なる努力は必要である
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	事業費及び人件費の削減を図るため、関連・類似事業と統合した
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者負担を導入しているが適正なコスト計算を行っていない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	事業を拡大
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	平成29年度から実施してきた事業を今後も推進していく中で、事業費の削減に努めてきたが、必要最低限の経費は維持するものと考えているため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、特にインバウンド事業においては、昨年度から引き続き海外からの観光客を呼び込むことが困難な状況が続いたことから、コロナ禍においても感染対策を徹底し、安全・安心に観光客を誘致できるよう国内旅行者の誘致にシフトしたのとなった。今後においては、緊急事態宣言やまん延防止措置が長期化する中において、国内旅行においても新しい生活様式が求められており、積極的な観光客誘致のPRを打ち出すことができなくなっていることから、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた事業展開が必要となってくる。</p>

行政経営評価レポート

事務事業名	海水浴場関係経費	所管	観光商工課
		事業ID	10701040225

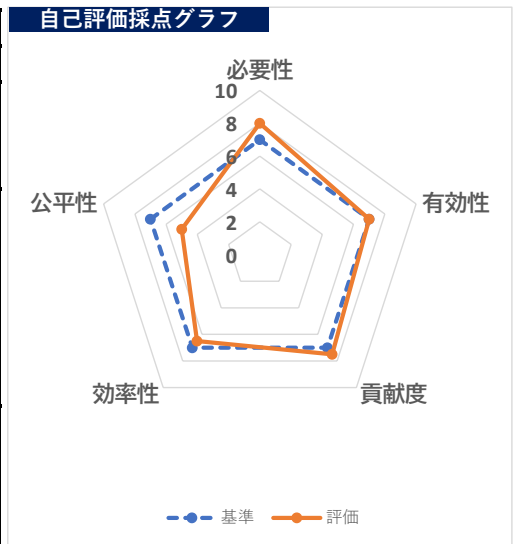
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
海水浴場の開設（監視業務）日数	日	目標値	30	30
		実績値	—	—
海水浴場の開設箇所	箇所	目標値	3	3
		実績値	—	—
監視人数	人	目標値	320	320
		実績値	—	—
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 2	R 3
3 海水浴場における水難事故発生件数 (安全で快適な海水浴場を開設することにより、海水浴客の増加を目指す。)	件	目標値	水難事故0件	水難事故0件
		実績値	水難事故0件	水難事故0件
()		目標値		
()		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により市内全海水浴場を不開設の措置を取ったため、活動実績指標及び事業成果指標の各項目において実績値等による比較検討ができない状況となった。				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きい	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	今後その額や対象等を再検討する必要がある

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性 (上記理由)	予算規模は現状維持とする 海水浴場の開設における必要最低限の予算規模であるため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市内全海水浴場を不開設の措置を取った。しかしながら、不開設の措置を取ったとしても海岸を訪れる方はいることから、その海岸利用者に対する安全対策を図るため、海岸利用者に対する注意喚起看板の設置、海岸環境衛生保持のための仮設トイレ及び水栓の設置等の対策を取ったが、今後はウィズコロナを踏まえた海水浴場の運営方針を新たに作成していく必要がある。

行政経営評価レポート

事務事業名	初日の出関係経費	所管	観光商工課
		事業ID	10701040725

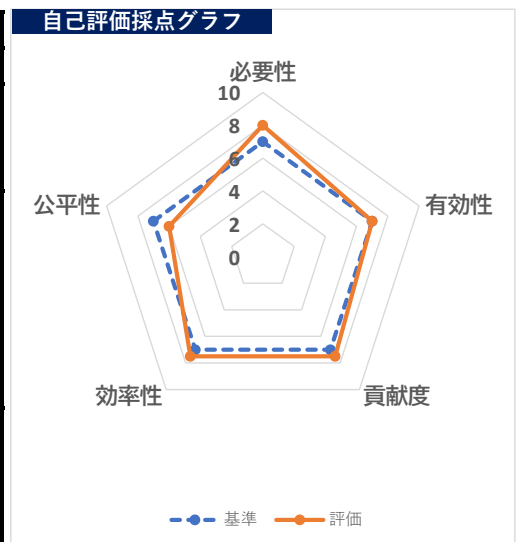
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
初日の出交通規制マップの作成	部	目標値	—	—
		実績値	15,000	15,000
初日の出人員配置数	人	目標値	—	—
		実績値	65	74
交通規制時間	時間	目標値	7	7
		実績値	7	7
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
初日の出入込客数 (元旦の犬吠埼周辺における入込客数)	人	目標値	50,000	50,000
		実績値	57,000	59,000
犬吠埼周辺での事故件数 (訪れた初日の出客が、事故等無く安全に過ごせたかどうか。)	人	目標値	—	—
		実績値	0	0
()		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>新型コロナによる外出抑制の雰囲気の中にあっても、初日の出入込客数は昨年とさほど変わらなかった。屋外で、年一回の自然現象の観察ということもあり、コロナの影響によらず毎年犬吠埼周辺は激しい交通渋滞が予想されるため、交通規制による初日の出客や地元住民の安全な通行の確保は必要と考えられる。</p>				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きい	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	今は受益者負担を求めているが、今後負担の導入を検討する必要がある

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模を拡大する
(上記理由)	<p>年一回の自然現象の観察ということもあり、コロナの影響によらず毎年犬吠埼周辺は激しい交通渋滞が予想されるため、交通規制による初日の出客や地元住民の安全な通行の確保は必要であり、規制に伴う予算は現状以上に必要と考えられる。</p>
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>交通規制は、市の業務委託による警備員のほか、銚子警察署及び銚子交通安全協会、銚子市観光協会の方々の協力を得ており、市からは観光商工課職員が従事しているが、年々市職員や交通安全協会の人員が減少してきており、業務委託する警備員数を増加する必要がある。</p>
--

行政経営評価レポート

		所管	観光商工課
事務事業名	スポーツツーリズム推進経費（スポーツによるまちづくり・地域活性化活動支援事業）	事業ID	10701044625

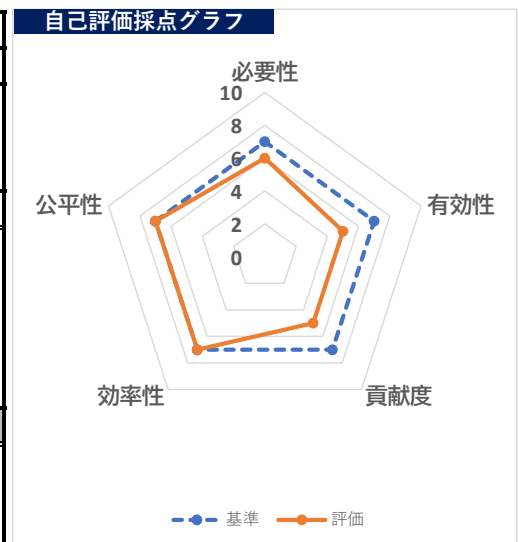
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
スポーツイベント開催数	回	目標値	13	13
		実績値	9	8
各種スポーツ団体・個人とのイベント提携数	件	目標値	6	6
		実績値	6	18
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 2	R 3
宿泊者数（銚子スポーツタウン） （スポーツ合宿誘致、広告等実施し、銚子スポーツタウンの宿泊者数の実績値を測る。）	人	目標値	8,160	8,160
		実績値	1,090	2,268
観光入込客数 （スポーツツーリズムの推進により銚子市全体の観光入込客数への反映度を測る。）	人	目標値	2,804	2,888
		実績値	1,949	1,748
スポーツイベント参加者数 （銚子スポーツタウンで開催したスポーツイベント参加者数を測り、イ）	人	目標値	1,930	1,930
		実績値	206	2269
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>新型コロナの影響により大きなイベントは開催しなかった。規模や内容を変更した各スポーツイベントやモニターツアーを実施した。</p>				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	増大している
	事業の廃止・休止による影響は大きい	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有効性	事業の成果は得られているか	成果が概ね出ているが、更なる努力は必要である
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性は適切であるが、あまり貢献ができていない
効率性	事業費等の削減努力	評価対象外
	関連・類似事業との統合	評価対象外
公平性	受益者負担は公正・公平か	評価対象外

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	NPO法人銚子スポーツコミュニティはスポーツによるまちづくり、地域活性化を推進する組織であり、継続して支援する必要がある。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>令和4年度もコロナ禍によるキャンセル等の宿泊者数の減少は続いていくと思われるため、1人当たりの宿泊単価の増収を図る施策としてBBQを推奨し利益率向上に努める。常に顧客管理名簿を整備し、効果的な情報発信に努め、予約受注に繋げる。デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、さるだ学集館及び銚子スポーツタウンを整備してサテライトオフィスやワーケーションでの利用により収益増加を図る。</p>
--

行政経営評価レポート

	所管	観光商工課
事務事業名	観光宣伝経費	事業ID
		10701040425

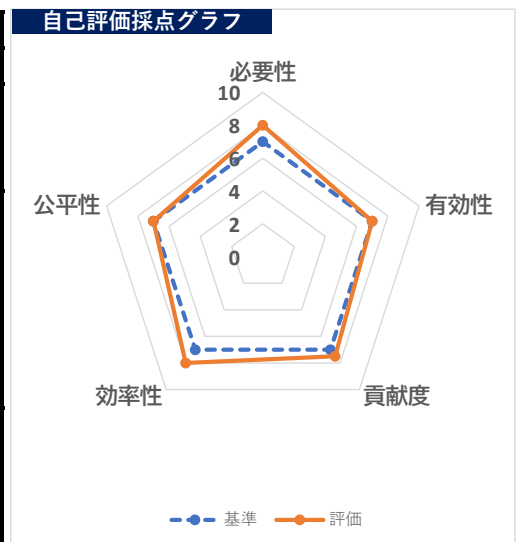
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
観光パンフレット「銚子見聞録」作成数	部	目標値	20,000	20,000
		実績値	10,000	0
観光マップ「銚子散歩」作成数	部	目標値	3,000	3,000
		実績値	3,000	0
郷土芸能の提供回数	部	目標値	—	—
		実績値	0	0
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
観光入込客数（暦年）	千人	目標値	2,804	2,888
（銚子市を訪れた観光客の数（暦年で算出））		実績値	1,949	1,748
（ ）		目標値		
（ ）		実績値		
（ ）		目標値		
（ ）		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
新型コロナウイルスの影響で例年のようにイベントが開催できない状況から、PR活動や郷土芸能の提供が従来通り行えず、十分なPR活動の成果を得ることはできなかった。				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
銚子の魅力を発信し、観光客を誘致するためには、観光パンフレット及び観光マップの作成は必要不可欠であるため。	
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

新型コロナウイルスの影響で観光客が以前のように戻らない状況が続いているため、アフターコロナを見据えて積極的に銚子の魅力を発信していく必要がある。
--

行政経営評価レポート

	所管	観光商工課
事務事業名	地球の丸く見える丘展望館及びポートタワー管理経費	事業ID
		10701040125

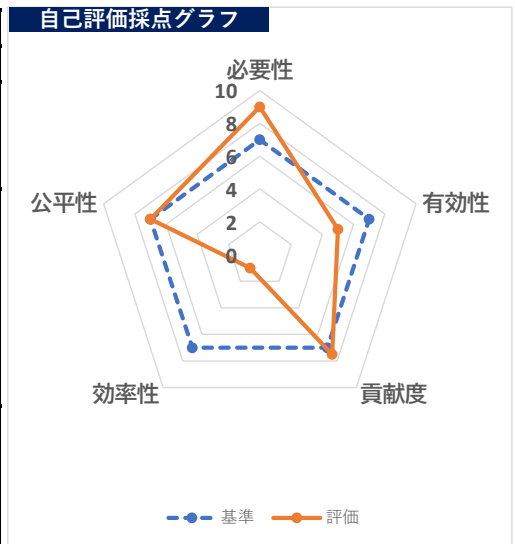
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
営業日数（地球の丸く見える丘展望館）	日	目標値	365	365
		実績値	306	363
営業日数（銚子ポートタワー）	日	目標値	313	313
		実績値	270	319
企画展・誘客イベント実施回数（展望館）	回	目標値	9	10
		実績値	8	8
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 2	R 3
入館者数（地球の丸く見える丘展望館） （地球の丸く見える丘展望館の1日あたり入館者数）	人	目標値	—	—
		実績値	153	179
入館者数（銚子ポートタワー） （銚子ポートタワーの1日あたり入館者数）	人	目標値	—	—
		実績値	103	131
		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
新型コロナウイルスの影響で入館者数が減少したことに加え、まん延防止等重点措置などの行動制限も影響し、収益を確保することができず、収支不足相当額を市で補填した。				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	増大している
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	成果が概ね出ているが、更なる努力は必要である
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
両施設の適正な維持管理を行うには、現状の予算が必要のため。	
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

新型コロナウイルスの終息が見込めない中、昨年度に引き続き厳しい経営が予想されるが、誘客に向けたイベントの開催や喫茶店等の売上を改善するなど更なる経営努力が必要となる。

行政経営評価レポート

	所管	観光商工課
事務事業名	地球の丸く見える丘展望館及びポートタワー改修経費	事業ID
		10701041725

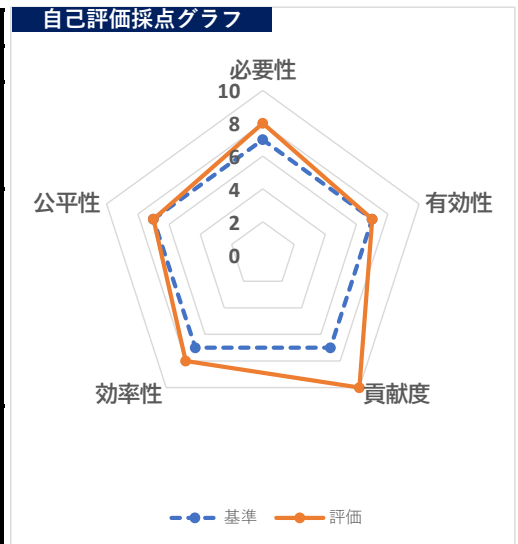
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
ポートタワー改修工事	件	目標値	—	—
		実績値	4	1
地球の丸く見える丘展望館改修工事	件	目標値	—	—
		実績値	1	0
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
令和3年度は、令和2年度と比較して大幅に工事件数が減少した。【令和2年度工事内容：銚子ポートタワー正面入口工事2件、トイレ改修工事、空調改修工事】				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	増大している
	事業の廃止・休止による影響は大きいか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費又は人員の削減に取り組んだ
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討したが統合不可
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	当該施設は建設から約30年が経過しており、現段階においても老朽化による修繕、改修の必要な箇所が多数ある。当該施設は本市観光の重要な観光拠点であることから今後も改修工事等を行っていく必要がある。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

当該施設は建設から約30年が経過しており、現段階においても老朽化による修繕、改修の必要な箇所が多数ある。当該施設は本市観光の重要な観光拠点であることから今後も改修工事等を行っていく必要がある。
--

行政経営評価レポート

	所管	観光商工課
事務事業名	観光協会関係経費	事業ID
		10701040325

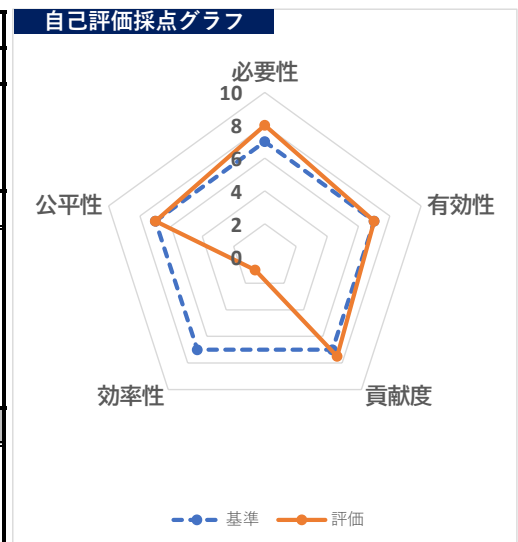
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
観光客の案内人数	人	目標値	20,000	20,000
		実績値	12,221	12,550
外国人観光客の案内人数	人	目標値	1,000	1,000
		実績値	234	259
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 2	R 3
観光入込客数（暦年）	千人	目標値	2,804	2,888
（ 銚子市を訪れた観光客の数（暦年で算出） ）		実績値	1,949	1,748
外国人宿泊客数（暦年）	人	目標値	9,432	10,375
（ 銚子市を訪れた外国人の宿泊数（暦年で算出） ）		実績値	597	117
		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
新型コロナウイルスの影響により観光需要が低下していることから観光客入込数の減少が顕著にあらわれた。				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きい	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	評価対象外

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
観光案内所の運営、観光宣伝の実施及び観光客誘致促進等を実施し、銚子観光にとって重要な役割を果たしているため。	
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

観光客の多様なニーズに対応し、魅力的な情報発信をしていくためには、観光案内所の運営は欠かせないものであるが、銚子を訪れた方に再訪してもらえるよう更なる取組みが必要。
--

行政経営評価レポート

		所管	観光商工課
事務事業名	観光ボランティア関係経費	事業ID	10701040525

4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
観光船頭会の会員数	人	目標値	26	26
		実績値	26	26
観光案内した団体数	団体	目標値	20	—
		実績値	3	5
観光案内した人数	人	目標値	900	—
		実績値	124	56
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 2	R 3
観光入込客数（暦年） （ 銚子市を訪れた観光客の数（暦年で算出） ）	千人	目標値	2,804	2,888
		実績値	1,949	1,748
入館者数（地球の丸く見える丘展望館） （ 観光船頭会の活動の拠点となる地球の丸く見える丘展望館の入館者数 ）	人	目標値	82,000	81,000
		実績値	60,305	59,216
（ ）		目標値		
		実績値		

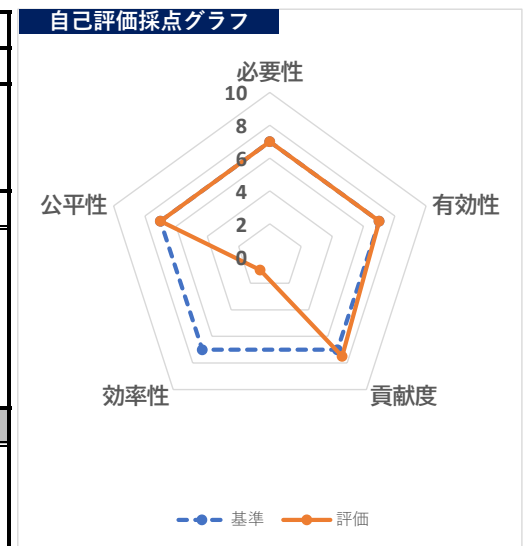
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載

新型コロナウイルス感染防止対策として、観光客との適切な距離を保ち、長時間のガイドは避けるなど、コロナ禍でもきめ細やかなガイドができるよう工夫を凝らし、観光案内に取り組んでいる。

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は小さいがある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
	市として、銚子のイメージアップ及びリピーター促進を図るため、市内においておもてなしの心で観光案内を実施している銚子ボランティアガイド観光船頭会へのバックアップは必要であると思われる。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かないため、積極的な活動が行えないが、観光客のニーズに可能な限り対応をしていく予定。また、会員の高齢化などにより、通常の観光案内に支障をきたしていることもあり、新規会員を増やすことが必要となっている。

行政経営評価レポート

	所管	観光商工課
事務事業名	犬吠埼霧信号所関係経費	事業ID
		10701041525

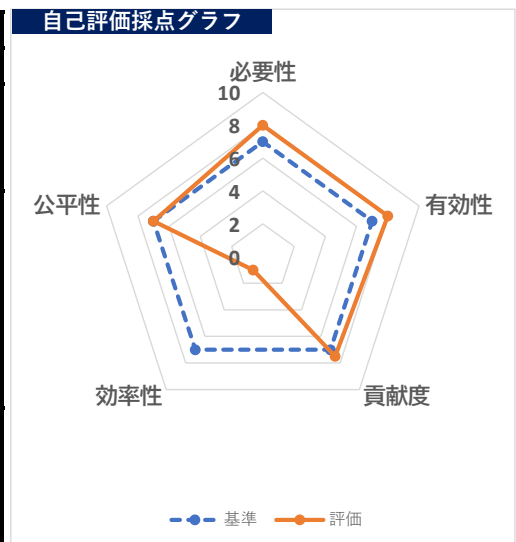
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
犬吠埼灯台の参観者数（暦年で算出）	人	目標値	100,000	100,000
		実績値	78,110	61,322
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
（ ）		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
新型コロナウイルスの影響を受け、昨年度より観光客数が減少しているが、国の重要文化財に指定されたことで観光資源としての魅力は高まっている。				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに十分に見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模は現状維持とする
(上記理由)	
平成21年度で廃止された旧犬吠埼霧信号所は、調査で官営八幡製鉄所で生産された国産の鋼材を用いた現存最古の建築物のひとつである可能性が高く、学術的、歴史的に極めて貴重なものであり、今後も文化財として保存活用を図る必要がある。	
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

国の重要文化財に指定され、観光資源としての魅力も高まっていることから、更なる保存活用に向けて今後も事業を継続することが必要となる。

行政経営評価レポート

		所管	観光商工課
事務事業名	その他観光振興経費	事業ID	10701040625

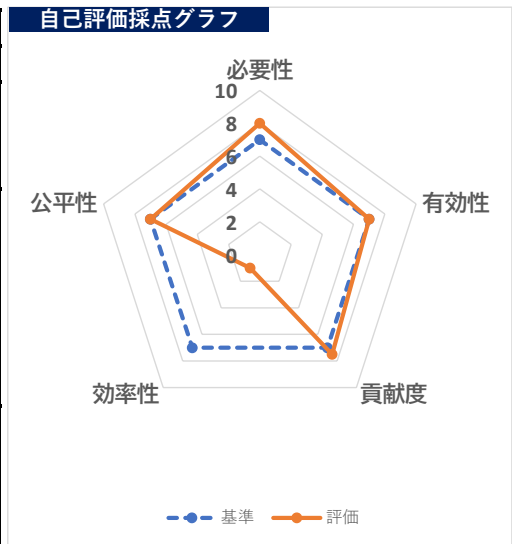
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
負担金支出団体数	団体	目標値	—	—
		実績値	6	6
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 2	R 3
観光入込客数（暦年）	千人	目標値	2,804	2,888
（ 銚子市を訪れた観光客の数（暦年で算出） ）		実績値	1,949	1,748
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
観光関係団体（千葉県観光物産協会・ちばプロモーション協議会・千葉県国際観光推進協議会 等）との連携を図る。				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	変わらずにある
	事業の廃止・休止による影響は大きい	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討していない
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者はいるが今後も公費により全額市が負担すべきものである

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模を拡大する
(上記理由)	観光関係団体との連携を図るために必要な経費のため。また、光熱水費や汲取り手数料など、観光インフラの整備に必要な経費のため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

各団体との連携に係る経費や観光施設の光熱水費といった固定的な費用だけでなく、今後観光案内看板や標識といった観光施設の老朽化、劣化に対する修繕費が必要になってくると考えられる。

行政経営評価レポート

		所管	洋上風力推進室
事務事業名	洋上風力推進経費	事業ID	10201085504

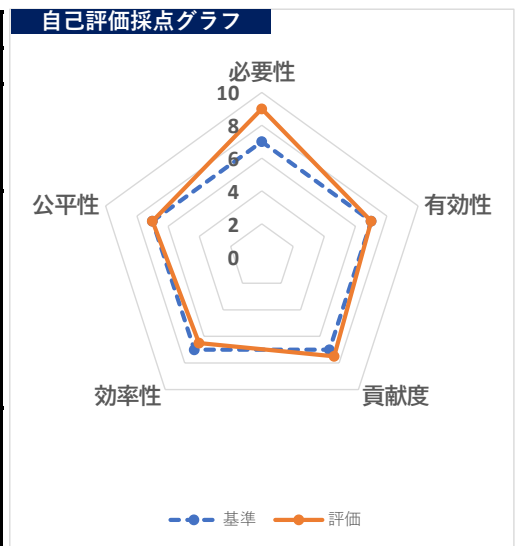
4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R2	R3
市民向け説明会 参加者・開催数	人/回	目標値	50人/1回	150人/1回
		実績値	—	—
広報配布物（配布数・発行回数）	枚/回	目標値	—	27,000枚/1回
		実績値	27,000枚/1回	—
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R2	R3
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
<p>令和3年12月24日、国は再エネ海域利用法に基づき、銚子市沖の促進区域における洋上風力発電事業者として、三菱商事エナジーソリューションズ株式会社・株式会社シーテック・三菱商事株式会社から構成されるコンソーシアム「千葉銚子オフショアウィンド」を選定した。発電事業者と連携し、事業概要の説明や進捗状況の報告を目的とした市民向け説明会（令和4年4月実施）の開催に向けた準備を進めた。今後も市民説明会の開催やリーフレットの配布による事業概要等の周知により洋上風力発電事業に対する市民の理解促進に努め、認知度の向上を図る。</p>				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	増大している
	事業の廃止・休止による影響は大きいのか	廃止・休止による影響は大きくある
	市が実施すべき事業か	豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
効率性	事業費等の削減努力	事業費及び人員の削減を検討したが削減余地なし
	関連・類似事業との統合	関連・類似事業の統合を検討していない
公平性	受益者負担は公正・公平か	受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	現状どおり
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模を拡大する
(上記理由)	<p>発電事業者や市内関係者と連携の下、漁業との共存・共栄を具現化し、漁業振興、産業振興、経済発展につなげる銚子モデルを構築し、洋上風力発電の再エネポテンシャルを最大限に活用するため、（仮称）洋上風力ビジョンの策定を検討するため。</p>
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

<p>国、県、漁業者、商工業者、観光事業者、発電事業者などと連携し、地元との協調・共生のもと、地域活性化につながる洋上風力発電施設の誘致を目指す。</p>

行政経営評価レポート

		所管	観光商工課
事務事業名	名洗港港湾整備経費	事業ID	10804020225

4 事業の結果と効果

活動実績指標項目	単位	目標/実績	R 2	R 3
名洗港港湾整備負担金	円	目標値	—	—
		実績値	1,653,827	30,479,375
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目（指標の説明）	単位	目標/実績	R 2	R 3
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
事業成果の総評 ※上記の指標による数値では表せない場合は、総評のみ記載				
千葉県が実施する港湾整備事業であり、令和3年度は防波堤の実施設計とブロック・築堤マット制作を行った。銚子沖洋上風力発電のメンテナンス港として使用予定のため、港湾施設の機能確保を行う。				

5 事業の検証

必要性	事業の実施に対するニーズはあるか	評価対象外
	事業の廃止・休止による影響は大きい	評価対象外
	市が実施すべき事業か	実施が義務付けられており、今後も市が実施する必要がある【法定受託等】
有効性	事業の成果は得られているか	事業の実施コストに見合った成果を得ている
貢献度	上位施策の実現に向けた貢献度	評価対象外
効率性	事業費等の削減努力	評価対象外
	関連・類似事業との統合	評価対象外
公平性	受益者負担は公正・公平か	評価対象外

事業の方向性	c:事業内容は現状どおりとする
見直しの種類	
見直しする内容	
今後の予算規模の方向性	予算規模を拡大する
(上記理由)	千葉県による港湾整備事業の拡大のため。
比較参考（他自治体での類似事業の例など）	



6 総評（評価に対する考え方から今後の事業の進め方など）

洋上風力発電のメンテナンス港として名洗港の整備事業費は拡大していくが、地元の負担が非常に大きいため、財政措置などを国に求めていく。
